

# 長洲町総合防災マップについて

この長洲町総合防災マップは、町民の皆さんに災害に関する情報を提供し、事前の備えに役立てて頂くことを目的に作成したものです。

災害による被害を最小限に抑えるためには「自助」、「共助」、「公助」の連携が不可欠です。特に、「自助」(自分の命は自分で守る)、「共助」(自分たちの地域は自分たちで守る)という考え方が重要になります。

この総合防災マップを活用し、身の回りの災害危険箇所や避難所、避難経路を確認し、事前の備えに役立ててください。



## 前回からの主な変更点

浸水想定区域・土砂災害警戒区域等の更新や最新の防災気象情報の見直しに伴い、長洲町総合防災マップを新しく作成しました。

### 情報面

- 避難を促す情報(5段階の警戒レベル)を掲載
- 避難の考え方やさまざまな避難行動について掲載
- マイタイムラインに関する情報を掲載

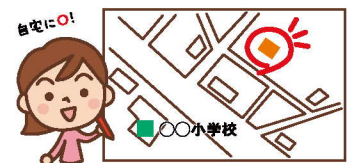
### 地図面

- 想定最大規模の浸水想定区域(洪水、高潮)を追加
- 土砂災害警戒区域・特別警戒区域を更新

## 長洲町総合防災マップの使い方

### ステップ① 自宅周辺の危険な区域を確認しましょう

各種ハザードマップから、自宅周辺の危険な区域を確認しましょう。自宅が浸水深0.5m以上(床上浸水のおそれ)の区域や、土砂災害警戒区域内に位置している場合は、特に注意が必要になります。



### ステップ② 避難所を確認しましょう

自宅から近い避難所を確認しましょう。避難所は、災害の種別や状況によって使用できる場所と使用できない場所があるので、それぞれの災害に対応した避難所を選定してください。



### ステップ③ 実際に避難所まで歩いてみましょう

確認した避難所までの道りを自宅から実際に歩いてみて、危険箇所(転落防止柵がない水路、蓋がない側溝など)や避難にかかる時間を確認しましょう。危険箇所を避けて、なるべく安全な避難経路を選定してください。



### ステップ④ マイタイムラインに行動計画を書き込みましょう

ステップ③までを家族で確認したら、マイタイムラインに行動計画を書き込みましょう。詳しくは、裏表紙の記入例またはマイタイムラインの用紙をご確認ください。

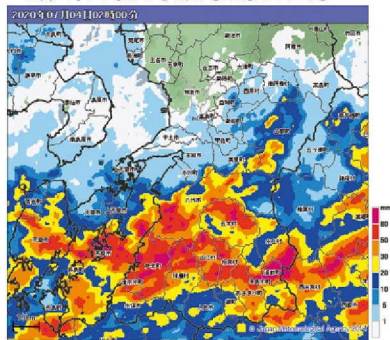
## 過去の災害

### 令和2年7月豪雨

7月3日の夜遅くから熊本県南部を中心に線状降水帯が形成され、1日で7月に降る約1か月分の降水量となりました。7月4日朝方にかけての12時間降水量は、熊本県南9地点で観測史上1位を記録しました。

さらに、7月6日から8日未明にかけての断続的な非常に激しい雨により、県北地域でも川の増水、土砂崩れ等を引き起こしました。

7月4日の雨の状況(気象庁より)



状況写真(八代市)



出典:熊本災害デジタルアーカイブ/提供者:八代市

### 県内の人的被害・住家被害の状況

住家被害	被害棟数	人的被害	人数
全壊	1,491棟	死者	65人
半壊	3,098棟	行方不明者	2人
床上浸水	292棟	重軽傷者	51人
床下浸水	426棟		
一部損壊	2,069棟		

(令和3年3月30日時点)

### 熊本地震

平成28年4月14日、16日に発生した熊本地震は、史上類を見ないマグニチュード6.5の前震とマグニチュード7.3の本震の同時期発生であったことから、道路、橋梁等のインフラ、災害時の避難所となる学校、公民館等の公共施設、さらには、河川の堤防や急傾斜地の擁壁などに甚大な被害を与えました。

長洲町の震度は、前震:5弱、本震:5強と強い揺れを観測しました。地震による家屋などの被害はあったものの、幸い大きな被害は発生しませんでした。

熊本地震地図

